

2023年1月17日

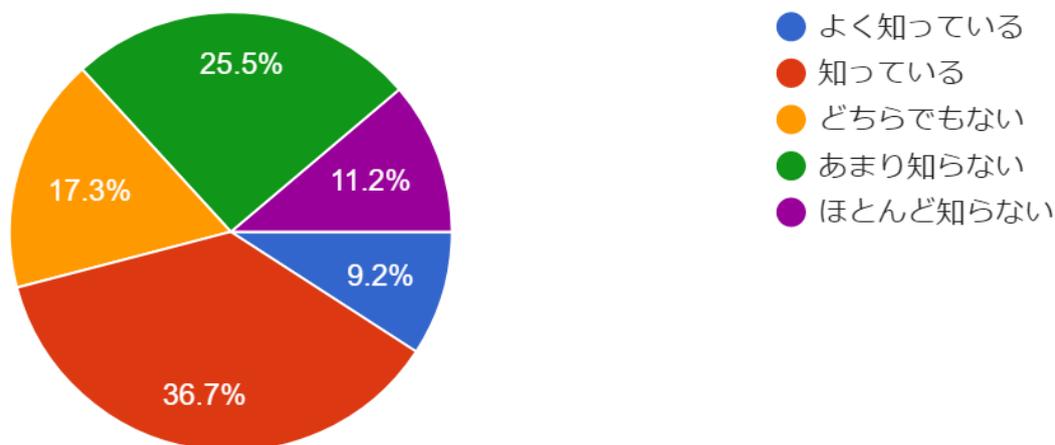
学修行動・成果アンケートについて（2年生）

学長室
教務委員会

2022年度に新入生対象として実施したアンケートを経年変化を見るために、10月から上級生に向けて実施を行いました。2年生は10月13日から11月30日にかけて実施いたしました。Googleフォームを用いたオンラインで調査を行い、98名からの回答を得ました。

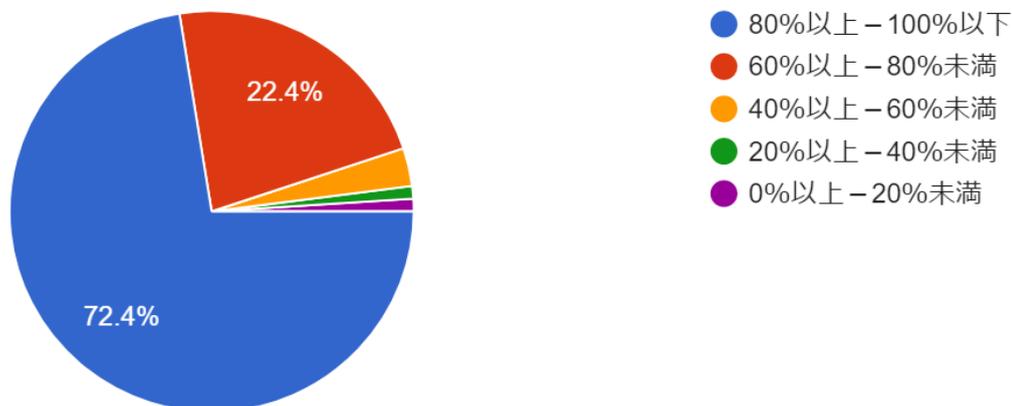
本アンケートは大学の学風の指針、目標についての理解、学修行動（出席状況、取り組み）、教養・専門知識、スタディスキル、社会人基礎力について問うております。それぞれの結果については以下の通りです。

1 高千穂大学の「学風の指針」「学風の目標」について知っていますか。



1年生と比べると、若干、「よく知っている」の割合が高くなっている。現在の2年生は、オリエンテーションが対面で出来たとはいえ、それ以降の本学の学風の指針や学風の目標に触れる機会がないためである。この点については今後の検討が必要となる。

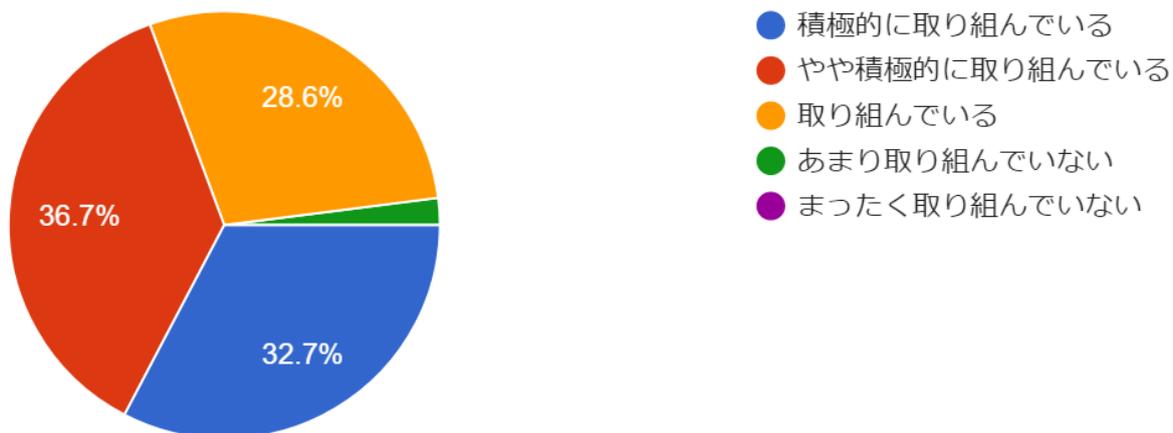
2 授業に出席している割合はどのくらいですか。



コメント

約70%の学生が80%以上出席していると回答している。本学では比較的、学生への授業参加を促す教員が多いためであると考えられる。また、40%以上60%未満が3%、20%以上40%未満が1%、0%以上20%未満が1%と若干の数の学生が授業に参加できていない。

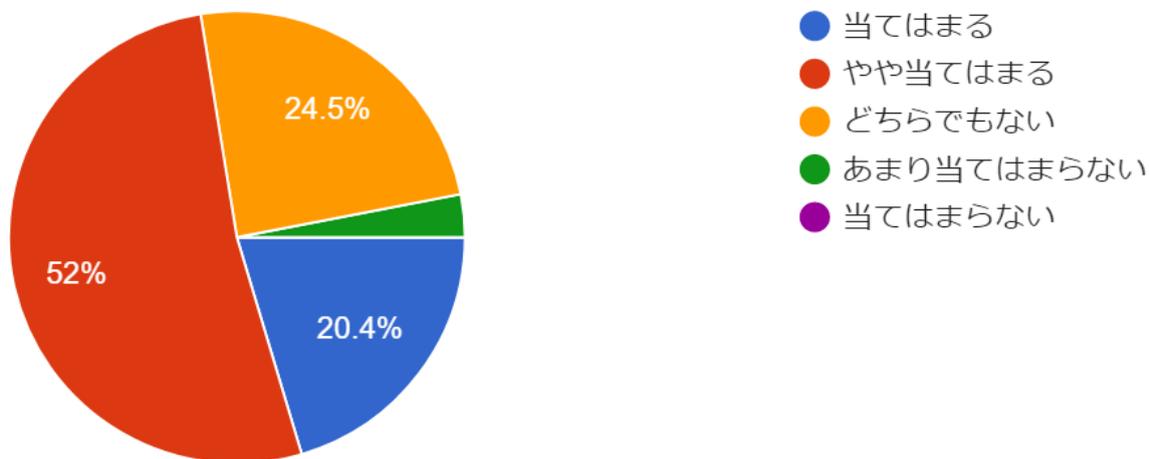
3 授業に対して積極的に取り組んでいますか



コメント

本学では、各学部において2年生よりコース選択に伴って専門科目を学ぶようになる。そのため、多くの学生が授業に対して積極的に取り組んでいることが結果として表れている。

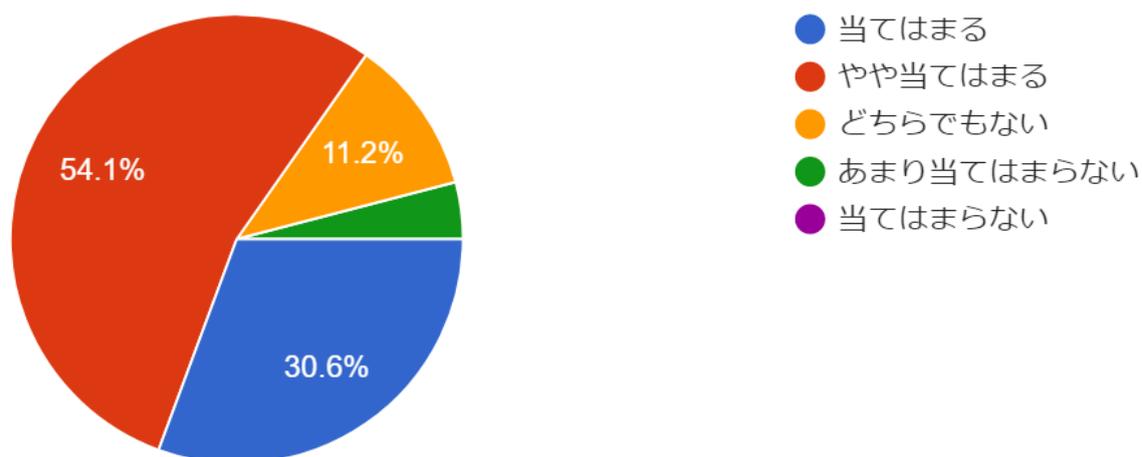
4 幅広い知識や教養を身につけている。



コメント

1年時の教養科目や本学のカリキュラムを踏まえて、専門科目だけではなく幅広い教養を身につけるようになってきており、2年時においてその結果が現れているといえる。

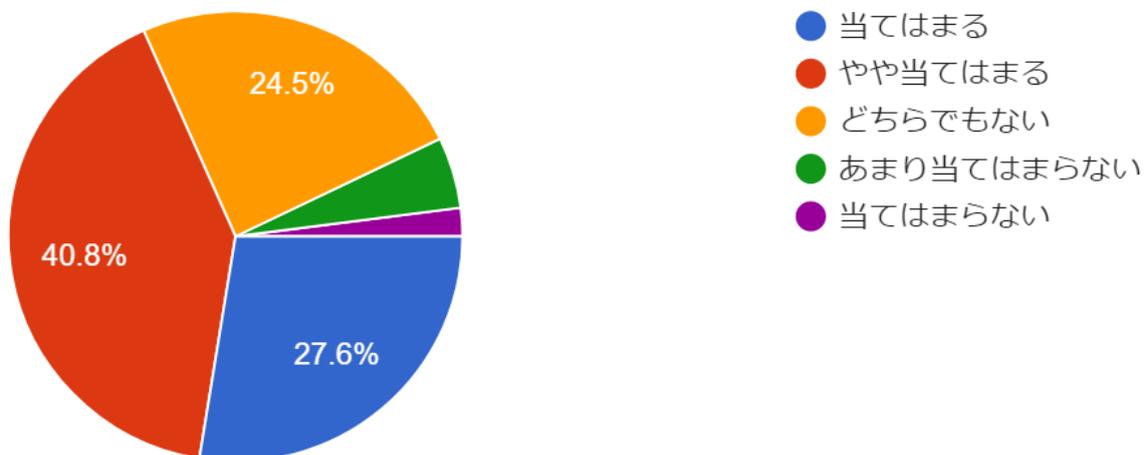
5 学部・学科で学ぶ専門知識を身につけている。



コメント

先述したように、コース選択が2年時に行われ、多くの学生が専門科目を学び始めている時期となっている。ただし、まだ専門科目を学び始めている段階であるため、当てはまるよりもやや当てはまるのほうが多くなっていると思われる。

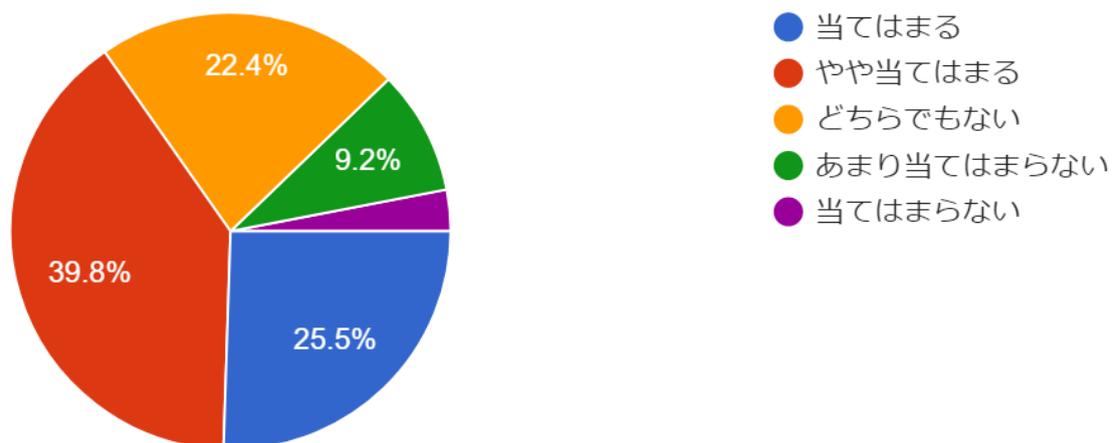
6 レポートの作成で必要となる情報収集技能を持っている



コメント

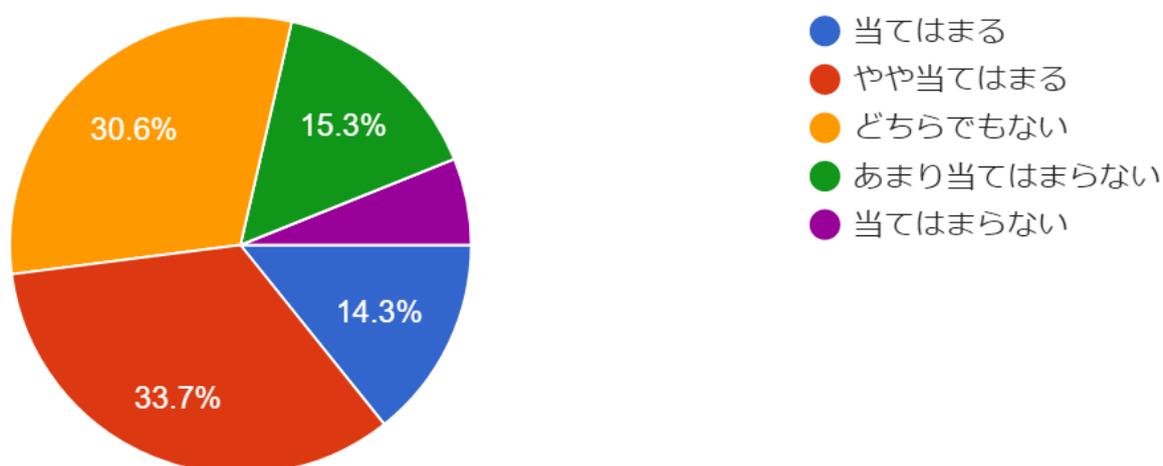
専門科目、教養科目を通じて、図書館や資料、インターネットから情報を集める機会が増えてくるため、当てはまるとやや当てはまるの比率が約70%となっており、順調に力がついていることが実感されている。

7 レポート作成に必要な文章作成技能を有している



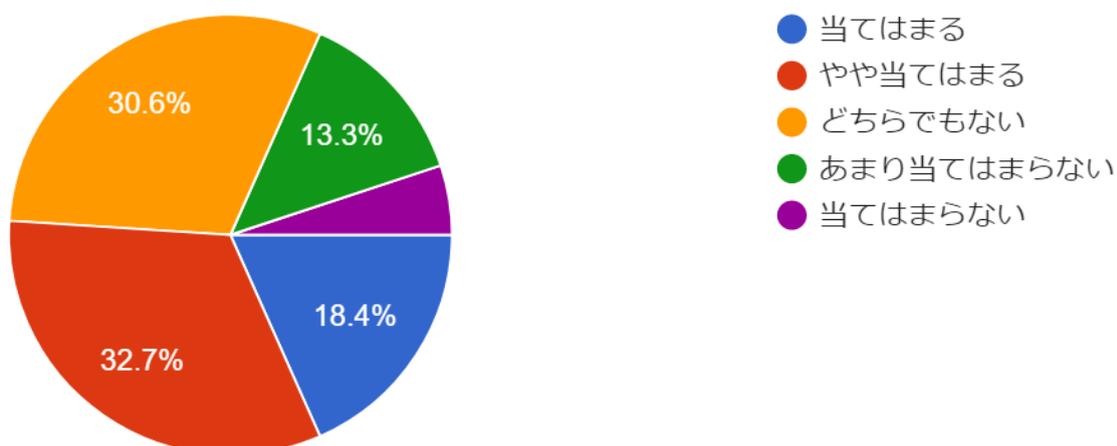
コメント：専門科目を中心に、ゼミ等でも文章作成が行われるため、1年生と比べると作成能力が高まっていることがアンケート結果から示される。

8 プレゼンテーション能力を有している



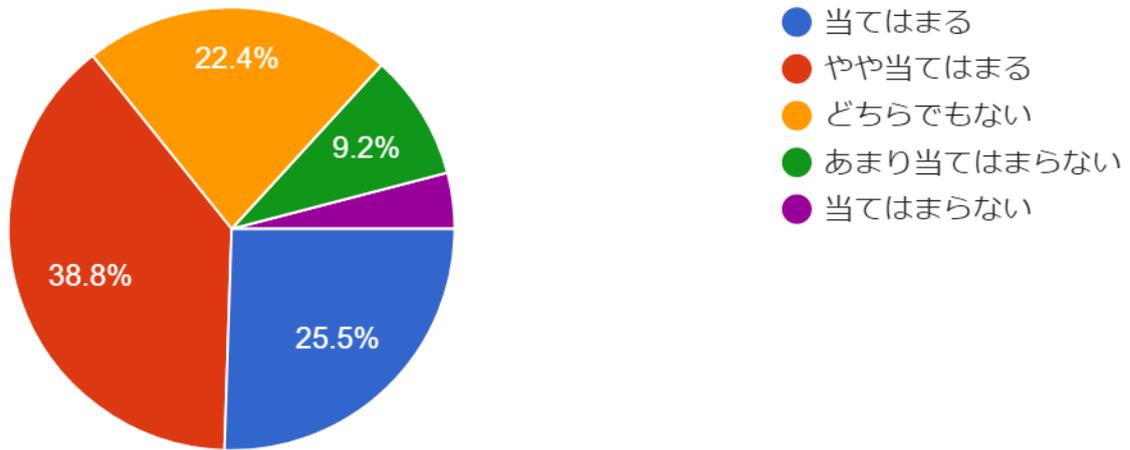
コメント：本学において主にゼミ発表会に向けてプレゼンテーション能力が高まるので、まだ十分に能力が認識されていない状態にある。

9 前に踏み出す力が身についている



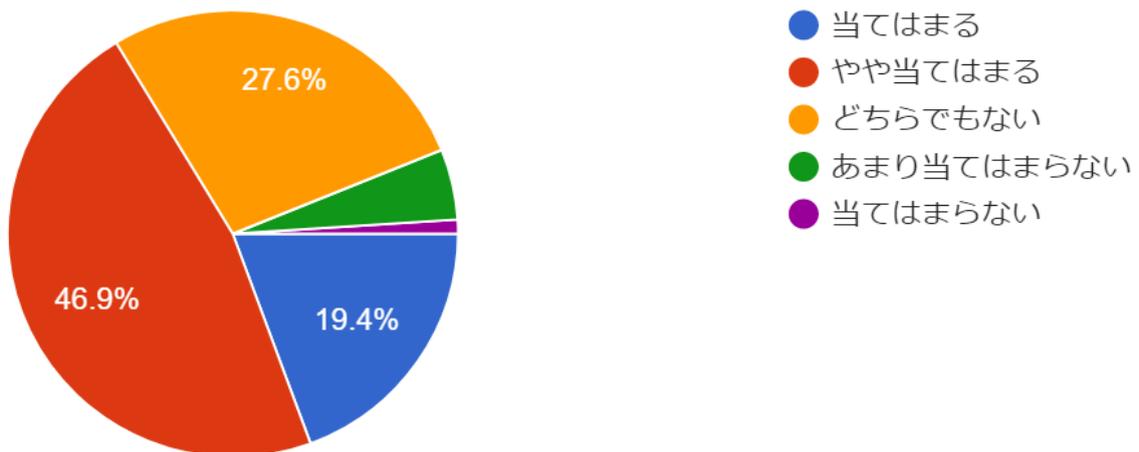
コメント：ゼミ I でのキャリア教育、それからキャリアに関連する内容をもつ授業科目等を通じて、社会人基礎力について知るようになり、それに伴い、前に踏み出す力の重要性も認識して行動に移していることが示されている。

10 考え抜く力が身に付いている



コメント：各授業科目でのアクティブ・ラーニングやゼミを通じた議論によって、考える力が身についていることが示されている。

11 チームで働く力が身についている



コメント：専門ゼミでのチーム活動を通じて、十分ではないものの、少しずつ力が身につけていることが示されている。

以上